

P8310787.JPG 2019/03/17

慶応四年九月六日より明治元年九月十三日まで

P8310787right

旧婢鉄良造家内の母来り琉芋、柿一籠持来、午飯を喫せしめ一方を遣す、古□□を添ふ、山下泉明日駿府出立

の趣に付初て告別に行く、一杯を勧らる、稲垣□来り白葡萄酒一瓶月餅趣の菓一折贈□旨

七日巳 晴午下漸陰 無記事

八日午 雨午下止乍晴 改元

次郎を携へ明神詣で境内小憩

九日未 晴

妻儀鎌<sup>ゝ</sup>児次郎を携礫姑並長女同行、目白台辺遊歩、五郎明後日駿州

出立に付餞別杯を設く、附而当日賀意の設を兼ね、礫姑も追て配食す

十日申 晴

P8310787left

礫姑次郎を伴ひ礫宅行く、五郎出立に付午餐に三児を招し夕餐に招かる、妻も然り

十一日酉 陰漸晴

五郎出立有<sup>ゝ</sup>し、山本次郎、永持へ来りし好便に尋問せられ練羊羹一折持来午餐へ

一杯を添て勧む、富沢叔母配食す

十二日戌 雨終日午下震

鎌<sup>ゝ</sup>児の儀、富沢叔母に誘れ□□寺□来より□□辺遊歩、けだし劇場ならん、礫姑宅へ

行き雨に降られて一泊せるよし申越す

十三日亥 晴

稲垣□来り、一面す、星野金に尋問せし迄、久々にて面し午餐を勧む、団粉を買て飯に供す

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。